

2018年度 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 卒業教育講習会3回シリーズ 第3弾

第3弾

「今、在宅作業療法に求められるもの」



地域包括支援システムの普及に伴い、セラピストはこれまで以上に在宅支援に関わる機会が増加しております。そのため、在宅支援に携わるセラピストとして必要な知識や技術を理解することを目的に、在宅支援の教育と実践現場の第一線でご活躍をされている3名の講師をお迎えしての本講習会を企画いたしました。

はじめに、大阪府立大学の高畑進一先生より、大学のコアプログラムである「在宅ケアを支えるリハビリテーション専門職の養成プロジェクト」の取り組みをご講演いただきます。本プログラムは文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プロジェクトの採択を受け、在宅ケアで活躍できるOT・PTの人材育成を目指した現職者教育プログラムと学士課程教育プログラムから構成される先駆的な取り組みです。

続いて、みかん訪問看護ステーションの伊藤玲先生からは在宅ケアの実践と後輩育成を、ホームケアクリニック札幌の田中ひとみ先生からは看護師のお立場から在宅支援で緩和ケアに携わるセラピストへの期待をご講演いただきます。

- | | |
|-------------|---|
| 13:00～ | 受付開始 |
| 13:30～15:00 | 「在宅ケアを支えるリハビリ専門職の養成プロジェクト」
大阪府立大学地域保健学域 高畑 進一先生 |
| 15:10～15:40 | 「札幌における在宅ケアーリハビリテーションの実践と後輩の育成」
みかん訪問看護ステーション 伊藤 玲先生 |
| 15:40～16:10 | 「在宅緩和ケアにおける実践を通して～看護師の立場から～」
ホームケアクリニック札幌 田中 ひとみ先生 |
| 16:10～16:20 | 質疑応答 |

《日時》 2018年12月1日(土) 13:30～16:20
《場所》 教育研究棟 I 2階 講義室 C203
《定員》 60名

参加を希望される方「参加は無料です」

参加希望の方は各講座の3日前(11月28日)までに下記にメールにて申し込みをしてください。申し込みの際には件名「卒業研修参加」とし、本文中に「氏名、所属、職種」をご記入下さい。資料準備の関係上、お早めにお申し込みください。

参加希望メール宛先：occupa-dp@sapmed.ac.jp

本講習会は札幌医科大学学術振興事業会の助成を受け運営しています

後援 公益社団法人 北海道作業療法士会